

共通開講科目(アオッサ) 交通心理学 / 仁愛大学

科目名/提供大学名	交通心理学 / 仁愛大学
科目名(英文)	Traffic Psychology
対象学年	3年生(但し、その他学年も可)
開講時期	前期
単位数	2単位
科目区分	選択
授業形態・開講形態	授業1～3週目:遠隔(動画配信)、授業4週目～:講義(双方向授業)
担当教員名	森本文人
オフィスアワー	授業の前後に質問等を受け付けます
教員メールアドレス	—
概要	交通心理学の主な目標のひとつは、車社会における道路利用者の安全と事故の防止です。交通場面での安全確保と発生する事故の防止のためには、それらにつながる人的要因とそれ以外の要因について、心理学領域より明らかにされてきた事象を理解し、有効に活用することが求められます。本授業では、交通心理学の歴史を紹介し、得られた研究成果をもとに、上記の目標につながる知見を獲得していきます。また地域の抱える交通問題や現代の交通事情についての理解を深めていきます。
学習・教育目標との関連	—
授業目標・目的	心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)	<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力
学生の目標・到達目標	<input type="checkbox"/> 交通心理学の基礎的な概念と主要な研究成果について理解したか。 <input type="checkbox"/> 事故防止などの社会的問題の解決に向けて交通心理学の果たす役割・手法について理解したか。 <input type="checkbox"/> 福井の交通事情における地域特有の問題について説明できるか。
授業計画・授業内容	第1回:交通心理学概説1 第2回:交通心理学概説2 第3回:ドライバーの知覚・認知・応答特性 第4回:外界からの情報入力～運動出力 第5回:事故につながるリスクを好む行動傾向 第6回:運転支援システム 第7回:運転適性 第8回:運転に必要な注意1 第9回:運転に必要な注意2 第10回:運転に必要な注意3 第11回:地域の交通心理学(福井の交通事情) 第12回:高齢者と子どもの交通心理学 第13回:あおり運転について考える1 第14回:あおり運転について考える2 第15回:まとめ 第16回:定期試験
授業方法	講義形式での授業を行います。紹介事例などを日常に落とし込んで、理解し考えなおす姿勢が必要です。
キーワード	道路交通, 判断と行為, 交通リスク, 安全
教科書	使用しない。
参考書	特になし。
評価方法・評価基準	定期試験(85%) 平常点(15%) (平常点は、授業への参加状況・受講態度などを総合して判断します)
関連科目	
履修の要件	心理学の応用による現代の交通問題への貢献に興味があること
必要な事前・事後学習	事前学習:事前にWebで公開される資料に目を通し、質問項目をまとめておく。 事後学習:授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて、その内容を各自で整理する。
その他・注意事項	